

念 書（兼 同 意 書）

（被災場所）

（加害者名）

平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇市〇〇町〇〇交差点 において 〇〇〇〇〇
の不法行為により私のこうむった災害に関し、地方公務員災害補償法による補償を受けた場合は、私が加害者に対して有する損害賠償請求権を同法第59条の規定によって基金が補償の価額の限度において取得行使し、かつ、賠償金を受領することに異議のないことをここに書面をもって申し立てます。

なお、あわせて下記の事項を遵守することを誓約します。

1. 加害者と示談を行おうとする場合は、必ず前もって貴職にその内容を申し出る。
2. 加害者側に白紙委任状を渡さない。
3. 加害者側から金品を受けたときは、受領の年月日、内容、金額（評価額）を漏れなく、かつ、遅滞なく貴職に連絡する。
4. 貴職から補償を受けた後、自動車損害賠償責任保険に対し、被害者請求をする場合の請求書類は、予め貴職の了承を得た場合を除き、保険会社に直接提出することなく必ず貴職に提出する。
5. 私が保険金請求権を有する人身傷害保険会社から保険金を受けようとする場合は、必ず前もって貴職にその内容を申し出る。
6. 上記災害に関して私の個人情報及びこの念書（兼同意書）の取扱いにつき、以下の事項に同意します。
 - (1) 貴職が、私の基金への請求、補償決定及び補償（その見込みを含む。）の状況等について、私が保険金請求権を有する人身傷害補償保険等取扱保険会社（共済）に対して提供すること。
 - (2) 貴職が、私への基金の補償及び地方公務員災害補償法第59条に基づく求償事務に関して必要な事項（保険会社等から受けた金品の有無及びその金額・内訳（その見込みを含む。）等）について、保険会社等から提供を受けること。
 - (3) 貴職が、私への基金の補償及び地方公務員災害補償法第59条に基づく求償事務に関して必要な事項（補償額の算出基礎となる資料等）について、保険会社等に対して提供すること。
 - (4) この念書（兼同意書）をもって(2)に掲げる事項に対応する保険会社等への同意を含むこと。
 - (5) この念書（兼同意書）を保険会社等へ提示すること。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地

氏 名 岡山太郎 (印)

地方公務員災害補償基金
岡山県支部長 殿